

科目名		演奏研究		学年・必修	3年	選択	使用教科書	『Joy of Music』教育芸術社		
				単位数	4		使用副教材	『New Recorder Library Basic Lesson & Ensemble』教育出版		
学習目標	音楽作品の演奏や鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。									
学習方法	(1) 楽譜、ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイルを用意してください。 (2) 音楽室にあるリコーダー、キーボード等の楽器や商品などの取り扱いには、十分注意してください。 (3) 各研究課題に応じて、グループや個人での練習や、意見交流をしながら進めるグループ活動、個人で思考を深める活動を行います。 (4) 研究の成果や今後の見通しを明確にするため、毎時間終了時に「演奏研究ノート」に振り返りと考察を記入します。技術的な課題や、疑問点などを積極的に記録しましょう。 (5) 定期的に中間発表会やロビーコンサートで発表・交流を行うとともに、最終発表会では演奏会形式で校外に研究の成果を発信します。									
学習評価	学習評価				評価方法					
	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		評価方法		割合(%)			
	a	音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	1	取り組みの様子	学習活動の取り組みの様子や発言	25			
	b	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	2	演奏研究ノート ワークシート	演奏研究ノートやワークシート(W/S)の記述	25			
	c	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技術を身に付け、創造的に表現している。	3	演奏発表	中間発表会、ロビーコンサート、最終発表会の演奏	50			
d	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よきや美しさを創造的に味わっている。								
協働学習の 促進性	協働する単位(単位)	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の場(連携授業を行う場合はその内容)							
	Stage Management Meeting ～自分たちが創り上げる発表会について考えよう～	総合的な探究の時間 (町おこしワークショップ)	町おこしワークショップの最終報告会に向けた広報・運営の活動や、プレゼンテーションで培った表現力・発信力を生かして、特色あるコンサートを企画・実施する。							
学期	月	単元名(教材)	配当 時間	学習の目標・ねらい	学習評価				学習内容と学習のポイント	Okushiryetu 5.0
前期	4	<b>オリエンテーション</b>	1	音楽Ⅱの目標や内容を確認し、1年間の学習の見通しを持つとともに、学習意欲を養う。	0 1				演奏研究ノートの使い方や、1年間の学習活動について確認します。	学びに向かう姿勢
		<b>Prologue 1</b> ～まずは、みんなでやってみよう!～	12	合唱および合奏の活動を通して、演奏における客観性と多様性について理解を深める。	0 1 2	0 1 2	0 1 3	0 2	全奏又はグループによる合唱や合奏に挑戦します。楽曲や演奏形態についても、各自の興味・関心に応じて検討します。演奏研究での学習のスタイルを確立しましょう。	実践力
	5	<b>Prologue 2</b> ～課題を決めて、グループ演奏にチャレンジ～	24	歌唱や器楽の表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに歌唱や器楽の表現を創意工夫する。	0 1 2	0 1 2	0 1 3	0 3	グループによる合唱や合奏に挑戦します。4月での取り組みの内容を生かしてより良い演奏を目指しましょう。	チーム力
		<b>Performance Challenge α</b> ～奥高祭に向けて、演奏ステージをデザインしよう～	6	奥高祭に向けて、魅力的なプログラムやパフォーマンスについて検討し、演奏ステージをデザインする。	0 1		0 3		4月以降取り組んできた成果を総合的に判断して、奥高祭のステージ発表について全体で検討します。時間の都合で奥高祭で発表できない人についても、ロビーコンサートなど、別の演奏会を企画して必ず校外に成果を発信します。	デザイン力
	7	<b>STAGE 1</b> ～まずは、個人の演奏技能を高めよう～	12	音楽表現の創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱または器楽の表現をするために必要な技能を身に付ける。	0 1 2	0 1 2	0 1 3	0 2	個人またはグループで課題を決めて演奏研究に取り組みます。例えば、以下のような演奏形態の中から興味・関心に応じて決定します。 【演奏形態例】：編曲や使用楽器の都合で希望通りにならないことがあります。 ピアノ独奏、ピアノ連弾、声楽、合唱(アカペラを含む)、リコーダー独奏、リコーダー合奏、トーンチャイム、ハンドベル、ギター独奏、ギター弾き語り、ギター合奏、文化華合奏、音楽劇独奏、混合アンサンブル、ポディパーカッション、鍵盤ハーモニカ独奏、器楽合奏	チャレンジ精神
		<b>STAGE 2</b> ～思いや意図を持って演奏で表現してみよう～	12	声や楽器の特徴を踏まえた解釈及び演奏に関する研究を通して、演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付ける。	0 1 2	0 1 2	0 1 3	0 2	個人またはグループで課題を決めて演奏研究に取り組みます。例えば、以下のような演奏形態の中から興味・関心に応じて決定します。 【演奏形態例】：編曲や使用楽器の都合で希望通りにならないことがあります。 ピアノ独奏、ピアノ連弾、声楽、合唱(アカペラを含む)、リコーダー独奏、リコーダー合奏、トーンチャイム、ハンドベル、ギター独奏、ギター弾き語り、ギター合奏、文化華合奏、音楽劇独奏、混合アンサンブル、ポディパーカッション、鍵盤ハーモニカ独奏、器楽合奏	思考・判断・表現力
	8	<b>Performance Challenge β</b> ～中間発表会① 研究の成果を披露しよう～	2	音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。	0 2		0 3		夏休み前までの研究成果を発表・交流します。演奏は途中まででも構いませんが、「聴く側」の姿勢も大切です。仲間の演奏やその作品に対して敬意をもって鑑賞しましょう。	傾聴力
		<b>STAGE 3</b> ～中間発表会をもとに、ブラッシュアップしよう～	14	作曲家の表現上の特徴を踏まえた解釈及び演奏に関する研究を通して、音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	0 1 2	0 1 2	0 1 3	0 2	中間発表会で明らかになった課題や、演奏したいと感じた思いや意図をもとに研究を進めましょう。その楽曲「らしさ」を追究することも大切にしましょう。	探究心
	9	<b>Performance Challenge γ</b> ～中間発表会② 研究の成果を披露しよう～	2	音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。	0 2		0 3		約1ヶ月の進捗状況を発信します。仲間の進捗や変化をしっかりと感じ取りましょう。	グロースマインドセット
		<b>Stage Management Meeting</b> ～自分たちが創り上げる発表会について考えよう～	2	最終発表会に向けて、聴衆を感動させるためのコンサートプログラムや必要な役割分担を検討する。	0 1				コンサートを企画します。開催する1月末に向けて、ステージマネジメントの観点から、プログラムや照明、タイムキーパー、司会、舞台装置、受付なども準備して1から役割分担をします。自分の係については、10月以降の演奏研究の合間に必要な準備を進めておき、最終に進捗状況を報告します。	プランニング能力
後期	11	<b>STAGE 4</b> ～コンサートに向けて、演奏研究をさらに進めよう～	14	時代や地域による表現上の特徴を踏まえた解釈及び演奏に関する研究を通して、演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付ける。	0 1 2	0 1 2	0 1 3	0 2	芸術の秋です。コンサートを見据えて、本格的に演奏に臨みましょう。日々の練習の思いがよくなって最終的な演奏の到達度が大きく変化します。必要なことがあれば、自ら進んで調べたり、担当教員に質問したりすることを意識して取り組みましょう。	分析・判断力
		<b>Performance Challenge δ</b> ～中間発表会③ 研究の成果を披露しよう～	2	音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。	0 2		0 3		最後の定期中間発表会です。ここまでの進捗状況によって、当日の演奏曲目などを確定させていきます。	メタ認知
	12	<b>STAGE 5</b> ～当日に向けて、入念にリハーサルをしよう～	15	声や楽器の特徴を踏まえた解釈及び演奏に関する研究を通して、演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付ける。	0 1 2	0 1 2	0 1 3	0 2	ひたすら、演奏に臨みましょう。	進む力
		<b>Performance Challenge ε</b> ～当日に向けて、入念にリハーサルをしよう～	10	歌唱や器楽の表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに歌唱や器楽の表現を創意工夫する。	0 1 2	0 1 2	0 1 3	0 2		レジリエンス力
	1	<b>演奏研究 最終発表会(仮)</b>	4	魅力的な音楽発表会を実施することで、校内および市内の音楽文化の振興に資する。	0 1 2		0 3		1年間の集大成として、素晴らしい演奏を期待しています。	完遂力